

チゴガニ



両方の真っ白なハサミを大きく振り上げて、メスヘアピール中のチゴガニ。中には勢いをつけすぎてよろけてしまうものもある。

コメツキガニは両方のハサミで、ハクセンシオマネキは大きい方はさみでウェーピングする。

ウェーピング



コメツキガニ

小さな砂団子が辺りに散乱しているのすぐに見つかる。また、巣に戻っても1分程度で出てくる。オスを捕まえてお腹を見るときれいな青紫色をしている。



ハクセンシオマネキ



ほぼ同数の確立で右利き、左利きが存在する。警戒心が強く、巣に戻ったなかなか出てこない。小さい方のハサミで食事をします。メスのハサミは両方とも小さい。

夏の干潟は観察に採り、水遊びととも楽しい場所です。今回はカニをテーマに、観察の楽しみを紹介しましょう。必要なものは忍耐、この二言に尽きます。この時期、カニは繁殖期を迎え、盛んに活動しています。

夏の干潟は観察に採り、水遊びととも楽しい場所です。今回はカニをテーマに、観察の楽しみを紹介しましょう。必要なものは忍耐、この二言に尽きます。この時期、カニは繁殖期を迎え、盛んに活動しています。

夏の干潟は観察に採り、水遊びととも楽しい場所です。今回はカニをテーマに、観察の楽しみを紹介しましょう。必要なものは忍耐、この二言に尽きます。この時期、カニは繁殖期を迎え、盛んに活動しています。

夏の干潟は観察に採り、水遊びととも楽しい場所です。今回はカニをテーマに、観察の楽しみを紹介しましょう。必要なものは忍耐、この二言に尽きます。この時期、カニは繁殖期を迎え、盛んに活動しています。

豊かな海の証

忍耐強く観察を



⑪ 干潟のカニ

すが、鳥などの天敵に対する警戒心が強く、容易に近づくことはできません。大きなものが動く気配を感じると、すぐに巣穴に戻ってしまいます。ゆつくりと近づき、静かに待ちましよう。

次第にウェーピングがそろってきます。「コメツキガニは、甲幅1センチで丸っぽく、砂のような保護色をしています。食事の後にできる小さな砂団子が目印となり、容易に発見できます。ハサミや脚を器用に使い、砂団子を作る姿をぜひ間近で観察してみてください。」

夏の干潟は観察に採り、水遊びととも楽しい場所です。今回はカニをテーマに、観察の楽しみを紹介しましょう。必要なものは忍耐、この二言に尽きます。この時期、カニは繁殖期を迎え、盛んに活動しています。



⑤ 汗を流す

現だが、虚子先生はかなりの汗っかきだったようだ。汗の役目は体温調節をすることである。汗が蒸発するときに体表面から熱を奪い、体温を一定に保っている。これを「温熱性発汗」という。

汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。

汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。

汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。

汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。汗をかく(精神性発汗)。

体温調節と老廃物の運び出し

健康的な『汗』を大いにかこう

熱性発汗」と大きく違う点は、汗をかく部位が全身ではなく局所に限られていることだ。普通、「多汗症」という場合には精神性の発汗を

熱性発汗」と大きく違う点は、汗をかく部位が全身ではなく局所に限られていることだ。普通、「多汗症」という場合には精神性の発汗を

熱性発汗」と大きく違う点は、汗をかく部位が全身ではなく局所に限られていることだ。普通、「多汗症」という場合には精神性の発汗を

熱性発汗」と大きく違う点は、汗をかく部位が全身ではなく局所に限られていることだ。普通、「多汗症」という場合には精神性の発汗を

熱性発汗」と大きく違う点は、汗をかく部位が全身ではなく局所に限られていることだ。普通、「多汗症」という場合には精神性の発汗を

安心安全 MEMO

当協会は、中国新聞社が展開している『ちゅーピーメルマガ』のデイリーメールを通じて、安心・安全につながる情報を提供してきました。『安心・安全MEMO』では、これまでに配信した情報の中からいくつかをまとめてご紹介します。くらしの中の豆知識として、お役立てください。

洗いや調理器具などを洗淨する。特に肉や魚介類を調理した器具などは、洗剤で洗い熱湯をかける。②食中毒菌を増やさないため、調理または購入した食品は直ちに冷蔵する。③食中毒菌を殺すため、食品を加熱して食べる。



◆家庭でできる食中毒予防
高温多湿になると、懸念されるのが食中毒です。そこで、家庭でもできる食中毒予防法を紹介します。

熱中症対策は、予防が最も重要です。発症の原因は、気温だけでなく、湿度や輻射熱(ふくしゃねつ)などがあります。自分は大丈夫と過信せず、「暑い」と感じれば、十分な休息と、のどが潤っていないくても何回も水分補給をする必要があります。また、暑さに慣れない時期に急に暑くなつた場合は熱中症になりやすいので、作業・運動内容を軽くして、徐々に慣らしておくとよいでしょう。高齢者や身体的・精神的障害がある人には、周りの人が気を配って予防してあげてください。

◆熱中症予防
熱中症対策は、予防が最も重要です。発症の原因は、気温だけでなく、湿度や輻射熱(ふくしゃねつ)などがあります。自分は大丈夫と過信せず、「暑い」と感じれば、十分な休息と、のどが潤っていないくても何回も水分補給をする必要があります。また、暑さに慣れない時期に急に暑くなつた場合は熱中症になりやすいので、作業・運動内容を軽くして、徐々に慣らしておくとよいでしょう。高齢者や身体的・精神的障害がある人には、周りの人が気を配って予防してあげてください。

◆有毒な植物にご注意
野山を散策したり、庭の草花を楽しんだり、私たちは普段たくさんの植物と接しています。時には実や新芽を食べたりしますが、身の回りには毒のある植物も意外と多いのです。スズランやアセビなど、野山の植物や庭に植えられている植物にも、有毒なものはあります。このような植物は、ただでなく、全体が有毒であることが一般的です。知らない植物の実などは、安易に口にするのはやめましょう。幼児が花瓶の水を口に入れることなどにも注意が必要です。